

平成30年度「民間育英団体」・「地方公共団体」の奨学金募集一覧（7月23日 現在）

（下記各団体からの「募集案内」は、総合研究棟Ⅱ 1階の 学生支援チーム①番窓口で見ることができます。）

奨学団体等	必要資格	支援機構 奨学金 との重複	対象学年 （注意：平成30年4月時点の学年）	金額	給付・貸与 の別	募集人員 （全国で）	募集要項の ＜請求先＞	申請書類の ＜提出先＞	提出期限
くまもと若手芸術家海外チャレンジ	芸術家を目指す学生や若手芸術家で、次の要件すべてに該当する者 1.平成30年4月1日時点で15歳以上30歳未満であること 2.熊本県内市町村の住民基本台帳に登録され現に居住しているか、過去に10年以上熊本県に居住したことがある者 3.専門とする芸術分野で一定の活動歴があり、将来性が見込まれ、当該分野に係る学校又は団体の推薦があること 4.海外での研修に堪える語学力を有すること 5.研修等の受け入れ先が確保されていることが証明できること 6.保護者の同意があること（高校生又は18歳未満の者のみ） 7.研修等開始時には義務教育を修了していること 8.研修等が平成30年10月1日～平成31年3月22日までの間に開催される者であること	可	学年は問わない （平成30年4月1日現在で15歳以上30歳未満であること）	渡航費・研修参加費の実費 ※上限は30万円	給付	4名程度	熊本県企画振興部ホームページ(リンク)	熊本県企画振興部ホームページ(リンク)	8月31日 応募書類必着
山梨県ものづくり人材修学支援事業費補助金	申込日現在に、大学、大学院、高等専門学校のうち、理学部、工学部、もしくはこれに準ずる学部、研究科等(以下、「大学等」という。)に在学し、次の各号のすべてに該当する学生を対象とします。 1.独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の貸与を受けていること 2.平成31年9月末までに、対象業種企業における、企画・開発・製造部門への就職を希望していること 3.平成30年4月初日を起点とした10年間に、8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する見込みであること 4.平成30年度に卒業予定であること	返還支援	平成30年度に卒業予定の者	卒業前2年間に貸与を受けた金額 ※第二種奨学金に関しては支援金額に上限有	返還支援	概ね30名	大 学 （学生支援チーム）	山梨県産業労務部ホームページ(リンク)	8月31日 ※募集人員に達したところで締切ます
三重県 （奨学金返還支援制度）	以下のすべてに該当する者 1.申請時に最終学年の1年前の学年以上の在 student で、就職先が決まっていな者 2.指定地域への定住を希望する者 ※指定地域は募集要項に記載 3.常勤雇用または個人事業主として就業する予定の者（ただし公務員は除く。） 4.日本学生支援機構第一種奨学金又はこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定の者 5.平成30年3月31日時点で35歳未満の者	返還支援	学部2年生以上 大学院1年生以上	在学中に借受予定の奨学金総額の1／4（上限100万円）	返還支援	20名	大 学 （学生支援チーム）	三重県戦略企画部ホームページ(リンク)	1月11日（17時） （応募書類必着） ※郵送の場合は配達証明郵便を使用すること
Kiyo Sakaguchi奨学金	・アメリカの大学・大学院にて数学科目の専攻を希望する高校生・大学生 ・日本にある高校、大学に在籍していること ・日本に在住していること ※既に留学中の方、ならびに大学院生、社会人は対象となりません	記載なし	学部学生	留学中の授業料300万円/年間を上限として最大4年間	給付	1～2名	ブルデンシャル生命ホームページ(リンク)	ブルデンシャル生命ホームページ(リンク)にてWebエントリー	8月31日 （エントリー締め切り）
（一社）大学女性協会	一般奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、 学業人物ともに優れた者。 社会福祉奨学生 文部科学省の認可する大学の学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で、身体に障害があり、かつ学業人物ともに優れた者。 安井医学奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、医学・薬学を選考し、かつ学業人物ともに優れた者。 ※備考 ・経済的理由は一切問わない ・過去に同協会の奨学金を授与された者は、再度応募することはできない ・在籍年数に休学期間は含まない ・翌年2月末日に、現在の大学に在籍であること ・社会福祉奨学生は、身体障害者手帳の交付を受けていること	可	一般奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生 社会福祉奨学生 文部科学省の認可する大学の学部・大学院に在籍1年以上の女子学生 安井医学奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生	一般奨学生（年額） 大学院生 200,000円 社会福祉奨学生（年額） 学部生 100,000円 大学院生 200,000円 安井医学奨学生（年額） 大学院生 300,000円	給付	一般奨学生 大学院生 6名 社会福祉奨学生 学部生、大学院生 合わせて3名以内 安井医学奨学生 大学院生 1名	（一社）大学女性協会ホームページ(リンク) ※6月中旬以降に掲載の予定	大 学 （学生支援チーム）	8月20日 （17時15分）

奨 学 団 体 等	必 要 資 格	支援機構 奨学金 との重複	対 象 学 年 (注意:平成30年4月時点の学年)	金 額	給付・貸与 の別	募 集 人 員 (全国で)	募集要項の ＜請 求 先＞	申請書類の ＜提 出 先＞	提出期限
似鳥国際奨学財団	1:日本国籍を有する者 2:2019年4月1日より学部課程の2.3.4年生に正規生として在籍する者。 ※6年制大学の、5年、6年に正規生として在籍する者も応募可能。 ※ただし、「修士」・「博士」・「全日制以外の学生」・「短期大学生」は応募対象外とする 3:学業、人物共に優秀であり、健康である。国際理解と国際間の有効親善に寄与できる者。 4:①当財団は他給付型奨学金との二重受給は認めない。ただし、貸与型奨学金並びに大学の授業料減免は認める。 ②当財団奨学金と他給付型奨学金に同時に合格した場合には、どちらの奨学金を受給するかを選択する。 ③当財団奨学金と同時に他給付型奨学金を受給した場合には、直ちに当財団の奨学生資格が取り消され、重複期間中の奨学金を全額返済しなければならない。	給付型奨学金は不可 貸与型奨学金、授業料減免は可	平成31年4月に日本国内の大学の2.3.4年に在籍・在籍予定の日本人学生	自宅生 5万円 (月額) 自宅外生 8万円 (月額)	給付型 (1年間支給)	50名	似鳥国際奨学財団 ホームページ(リンク)	似鳥国際奨学財団 ホームページ(リンク) にてWEBエントリー	11月18日 (締切が早まる可能性がある があるので、早めの エントリーを推奨)
(財)交通遺児育英会	保護者等が自動車事故や踏切事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生 ※応募時に25歳以下の者	可	大学院生(在学)	月額 5万, 8万, 10万 円	貸与 (無利子)	20名	(財)交通遺児育英会(リンク)	提出期限の1週間前までに 大学に推薦書の作成を 依頼すること	10月31日
			大学院予約(学部最終学年)			(1次)8月31日			
			学部生	月額 4万, 5万, 6万 円		300名			(2次)1月31日 10月31日
山梨県ものづくり人材修学支援事業費補助金	理工系の学部 に在籍する大学生・大学院生等で、次の全てに該当する方。 ①独立行政法人日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けていること。 ②県内の対象業種企業(※1)の企画・開発、製造部門への就職を希望していること。 ③平成30年度に卒業予定であること。	返還支援	大学4年生の者 大学院2年生の者。 (平成30年度中に大学もしくは 大学院を卒業又は修了予定 の者)	大学等の在学時に、奨学金として貸与を受けた額のうち、卒業前2年間に貸与を受けた額を上限とする	返還支援	30名程度	山梨県産業労働部 産業人材育成課 ホームページ(リンク)	山梨県産業労働部 産業人材育成課 ホームページ(リンク)	8月31日 ※募集人員に達した ところで締切ます
みえ医療福祉生活協同組合 津生協病院	日本全国の医科大学・大学医学部に在籍する医学生	卒業後の 進路に指定のある奨学金との重複は不可	医科大学・大学医学部の学部生	月額 10万円 月額 15万円	貸与 (返還免除 制度あり)	記載なし	津生協病院 ホームページ(リンク)	津生協病院 ホームページ(リンク)	随時
	は新着情報です。								
※ 掲 示 期 限 ： 平成31年1月31日 (それ以前に 内容更新があった場合は、その更新(差替え)時 まで)									